

自然博物館 調査カード

「川・湖沼・海の生態」

見学日： 月 日 天気

中学校 年 組 名前

1 水槽を見てみましょう。ここでは茨城県の久慈川をモデルにして上流から下流までの生態を紹介しています。それぞれ特徴的なことやわかった動物を記録しておきましょう。

(1) 上流	
(2) 中流	
(3) 下流	
(4) 磯(海)	

2 湖や沼でいろいろな生き物が生活しているジオラマがあります。これは博物館のとなりにある菅生沼(すがおぬま)をモデルにしています。どんな動物や植物が生活しているでしょう。

3 水そうに各地で天然記念物にも指定されているイトヨという魚がいます。映像もありますから参考にしてください。

(1) 陸封型や降海型って何？

陸封型	降海型
-----	-----

(2) イトヨの行動でおもしろいことはどんなこと？

4 「湖沼の生き物たちのつりあい」の映像を見てみよう。数のバランスについてわかったことを書いてみよう。

5 海は深さによって水圧・水温・塩分の濃さなどがちがいます。そのため、深さによって生活している生き物の種類がちがいます。どのような生き物がいるのでしょうか。

(1) 深いところ(深海)にすむ生き物 水深は(約)

(2) 浅いところにすむ生き物 水深は(約)

6 茨城の沖は暖流と寒流がぶつかっています。このようにぶつかっているところを潮目(しおめ)とよびます。

漁師さんにとってはこの潮目が良い漁場となります。

(1) どうしてかな？

(2) どんな魚が集まっているのかな？

7 海には寒流や暖流によって移動しながら生活している生き物がいます。このような魚は回遊魚とよばれています。

(1) 暖流系にはどんな生き物がいるかな？

(2) 寒流系にはどんな生き物がいるかな。

8 これらの学習であなたが感じたことを書いてみましょう。